

関川診療所・保健センター省エネ改修（空調設備更新）工事

番 号	図 面 名 称	縮尺(A1)
M-01	機械設備工事 特記仕様書（１）	N. S
M-02	機械設備工事 特記仕様書（２）	N. S
M-03	案内図・配置図	1/250
M-04	空調設備 機器表(改修後)	N. S
M-05	空調設備 1階平面図(改修後)	1/100
M-06	空調設備 機器表(改修前)	N. S
M-07	空調設備 1階平面図(改修前)	1/100

関川診療所省エネ改修（空調設備更新）工事		工事設計図	
工事場所 新潟県 岩船郡 関川村 下関515-1			
建物概要			
建 物 名 称		構 造	階 数
関川診療所・保健センター		R C造	1階
延べ面積 (㎡)		1083.34. ㎡	
消防令別表第一			
備 考			
仕 様 書			
Ⅰ. 共通仕様			
1. 本共通仕様及び特記仕様に記載されていない事項は、次による。			
新築及び増築に係る機械設備工事においては、「国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修・公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）令和4年版」（以下「標仕」という。）及び「国土交通省大臣官庁官庁営繕部設備・環境課監修・公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）令和4年版」（以下「標準図」という。）による。			
改修に係る機械設備工事においては、「国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修・公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）令和4年版」（以下「改修標仕」という。）及び標準図による。ただし、改修標仕に記載されていない事項は標仕による。			
2～4及び別表は省略。			
（「新潟県土木建築工事仕様書作成要領別記3『機械設備工事共通仕様』」のとおり。新潟県ホームページを参照）			
Ⅱ. 特記仕様			
凡 例			
（1）章と項目は番号に○のついたものを適用する。特記事項は・に○のついたものを適用する。			
（2）特記事項で、○印のない場合は、※ 印を適用する。○ 印と※ 印のある場合は○ 印のみ適用する。			
○ 印と※ 印のある場合は両方適用する。			
（3）概観項目の「a-b.c.d.」は標仕並びに改修標仕の第 a編 b章 c節 d項を表す。			
章 項 目	特 記 事 項		
① 工事実績情報（GRIINS）への登録	請負工事費 500万円以上の場合登録する。		
3. 概成工期	※ 無 ・有（工期 令和 年 月 日 ～ 終了 令和 年 月 日 とする。ただし、次の作業は内部工事着手前に行える。（着手日、作業箇所は施設及び監督員と協議のうえ決定する。）		
④ 工事の記録等	※ 工場製作のための現場寸法調査		
⑤ 養生材の処理等	部分使用に係る条件に変更がある場合は、部分使用承諾書により施設内部の使用を開始する。契約書に基づく履行報告に当たり、報告に用いる書式等は「工事進行マニュアル（新潟県土木部都市局常課）」による。		
6. 機材の検査に伴う試験	下記機材は、標仕あるいは改修標仕 第1編1.4.6.(1) (イ)を適用する。		
7. 技能士	() ・ 配管施工（建築配管作業） ・ 熱絶縁施工（保温、保冷、防護） ・ 冷凍・空調調和機器施工（機器据付及び整備） ・ 建築板金施工（外装製作及び取付）		
8. 見本施工	※ 実施しない ()		
⑨ 完成図等	下記のものを作成し提出する。なお、作成方法及び部数等は監督員の指示による。		
⑩ 施工図等の取扱い	製本（完成図、施工図）、CADデータ、保全に関する資料		
⑪ 工事完成写真	施工図等の著作権に係る当該建物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。		
⑫ 工事施工状況写真	工事完了後整理のうえ監督員に提出する。提出部数 3 部 工事完成写真は機械室機器、主要各室の冷暖房衛生機器及び屋外施設等とし、改修工事については、主要な部分の改修前と改修後が、比較できるものとする。このほか特に監督員が必要と認め指示した箇所とする。		
13. 他工事との取合い	工事施工状況写真の撮影は、工事に係る材料、施工及び品質管理の状況が確認できるように行うものとし、「国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修 営繕工事写真撮影要領（令和5年版）」による工事写真撮影ガイドブック機械設備工事編（令和5年版）を参考に、撮影計画書を作成して監督員に提出する。ただし、あらかじめ監督員の承諾を受けた場合は、撮影計画書の作成を省略できる。		
1. 溶接部の非破壊検査	※ 適用しない ・適用する（・ R T ・ P T ・ M T） （ ・ 油管 ・ 低圧蒸気管 ・ 冷却水管 ・ 冷水水管 ・ 高圧蒸気管 ・ 高温水管）		
2. 吊り及び支持	機械室内等配管で振動の伝播を防ぐ必要がある場合の吊金物は下記による。		
機械室名		※	※
防振吊金物		※	※
施工範囲		・給水管・消火管・ダクト・冷却水管・冷水水管・温水管	
3. 管の埋設	床下地中埋設配管は、床配筋から吊金物で支持する。（県共通図参照）		
4. 地中配管の表示	地中埋設機（※ 要（図示の箇所） ・ 不要）		
5. 埋め戻し土・盛土	埋設表示テープ（※ 要 ・ 不要）		
⑥ 耐震措置	※ 掘削土の良質土（ただし、管の周囲は山砂の類とする。） ・ すべて山砂の類で行う		
設備機器の固定は下記に示す事項を除き、全て「建築設備耐震設計・施工指針 独立行政法人建築研究所監修 2014年版」による。また、100kg未満の機器については製造者の指定する方法で確実に支持・固定する。			
重要機器			
重要水槽			
重要機器・重要水槽については、下表に適合する設計用水平震度から算出したアンカربولト等を選定して固定する。		設計用標準水平震度	
設置場所			
耐 震 安 全 性 の 分 類			
・特定施設（・ A 類 ・ B 類） ・ 一般の施設（乙類）			
重要機器・水槽 一般機器・水槽 重要機器・水槽 一般機器・水槽			
上層階・屋上及び塔屋		2.0 (2.0) <2.0>	1.5 (2.0) <1.5>
中 間 階		1.5 (1.5) <1.5>	1.0 (1.5) <1.0>
地 下 階 ・ 1 階		1.0 (1.0) <1.5>	0.6 (1.0) <1.0>
(注) 1. () 内の数値は防振支持の機器の場合に適用する。			
2. < > 内の数値は水槽類に適用する。			
3. 上層階の定義は、2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階。			
(1) 設計用水平地震力・機器の重量(N)に設計用水平震度を乗じたものとする。			
(2) 設計用鉛直地震力・設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。			
7. 制御及び操作盤	下記の機器は標仕の第2編 1.2.2.1項を適用する。		
8. パワー用制御及び操作盤	追加する接点及び端子は機器表による。		
9. 建物導入部の点検柵	下記の機器は標仕第2編 1.2.2.2項を適用する。		
図示の建物導入部において、ホリシツ管と異種管の接合部に点検柵を設置する。			
① 監督員事務所		※ 設けない（仮設事務所の中に監督員用スペースを ㎡程度確保する。）	
② 工事用水		・ 既存の施設 ※ 利用できる（※ 有償 ・ 無償） ・ 利用できない	
③ 工事用電力		・ 既存の施設 ※ 利用できる（※ 有償 ・ 無償） ・ 利用できない	
④ 仮設建物等		現場事務所・倉庫、下小屋等の仮設建物の位置は、あらかじめ監督員の承諾を受け、すべて受注者の負担とする。	
⑤ 残土処理		※ 構内指示の場所に敷均し ・ 構内指示の場所に堆積 ・ 構外搬出適切処理	
⑥ 地業工事		砂利地業 砂利種別（※ 再生クラッシュラン ・ 砂利 ・ 砕石）	
⑦ 鉄筋工事		※ 異形鉄筋（※ A種 ・ B種）（※ SD295A ・ SD345）	
⑧ コンクリート工事		・ 丸鋼（※ A種 ・ B種） 粗骨材 ※ 砂利 ・ 砕石 ・ 砂利と砕石の混合（ /Wt以下） 細骨材 ※ 洗砂 普通コンクリート ※ レディーミクスコンクリート（※ I 類 ・ II類） 設計基準強度 (N/mm ²) スランプ15cm又は18cm	
18 施工箇所（関連工事等）		18 施工箇所（関連工事等）	
⑨ 電動機		強度試験 ※ 省略する ・ 実施する（ ） 機器は標仕第2編1.2.1項を適用する。ただし、下記の機器は製造者の標準仕様としてよい。	
⑩ 容量等の表示		(※ 換気扇 ※ 圧力扇 ・ 衛生設備)	
⑪ 電源周波数		※ 50 Hz ・ 60 Hz	
⑫ はつり		既存コンクリート床、壁等の配管貫通の穴あけは原則としてダイヤモンドカッターによる。	
⑬ 総合試運転調整等		○ 風量調整 ○ 室内外空気の温度測定 ・ 室内気流及び塵埃の測定 ○ 騒音測定 ○ 初期運転状態の記録	
14. 絶縁継手		・ 図示による ・ ()	
1. 衛生		標仕第2編3.1.5項によるほか下記による。	
		(1) 屋外露出配管の保温仕様	
		材料及び施工順序 保温厚さ (mm) 施工範囲	
		ホリシツ管	
		1. 保温筒 15A ～ 25A 50 mm	
		2. 粘着テープ	
		3. ホリシツ管	
		32A ～ 200A 40 mm	
		4. シルス鋼板	
		・ 以下の屋外露出配管等は凍結防止ヒータ (12.5W/㎡程度、自己温度制御型、電源ランプ・通電ランプ付きサーモスタット付属) を設置する。	
		※ 定水位弁	
		※ 定水位弁の二次側パイロット配管 (副給水管)	
		・ 図示による	
		(2) 床下、暗渠内配管の保温仕様 (外気の流入する部分)	
		材料及び施工順序 保温厚さ (mm) 施工範囲	
		ホリシツ管	
		1. 保温筒 15A ～ 150A 30 mm	
		2. 粘着テープ	
		3. ホリシツ管	
		4. シルス鋼板	
		(3) 銅板製タンクの保温 (・ 要 ※ 不要)	
		(4) ステンレス鋼板製パネルタンクの保温	
		(・ 要 (外装材は アルミニウム板 ・ ステンレス鋼板) ※ 不要)	
		(5) 給排水弁の保温主材はポリスチレンフォームカバーとする。(6.5A以上)	
		(6) 屋外露出配管の保温で合成樹脂製カバー2 (ジャケットタイプ) の使用箇所	
		・ 図示による ・ ()	
② 空調		標仕第2編3.1.4項によるほか下記による。	
		屋外露出配管の保温仕様	
		材料及び施工順序 保温厚さ (mm) 施工範囲	
		ホリシツ管	
		1. 保温筒 15A ～ 25A 50 mm	
		2. 鉄線	
		32A ～ 200A 40 mm	
		4. シルス鋼板	
		膨張管	
		屋外露出配管の保温で合成樹脂製カバー2 (ジャケットタイプ) の使用箇所	
		・ 図示による ()	
		(・ 膨張タンクよりポリイソレー等への補給水の保温は、標準仕様書第2編3.1.4の温水管の項による。)	
		・ 建物内の空気抜き管の保温は標準仕様書第2編3.1.4の温水管の項による。	
		・ 空気調和機及びファンコイルユニットの排水管の保温は標準仕様書第2編3.1.5の排水及び通気管の項による。	
		・ 共同溝の保温	
		下記の施工箇所の保温の仕様は、それぞれの項を適用する。	
		区 分 施工箇所 (室名) 保温種別 外 装	
		ダクト	
		配管	
		○ 保温化粧ケース	
		○ 使用する (※ 塩ビ製 ・) ・ 使用しない	
		・ 高圧蒸気管の保温厚は冷水水管による。	
		・ 高圧蒸気ヘッダーの保温厚は75mmとする。	
		下記のダクトは標仕第2編表2.3.2により保温を行う。	
		ダクト 施工範囲 保温厚	
		外気 (OA) 全て 25 mm	
		給気 (SA) 全て 標仕第2編表2.3.7 XI (50 mm、25 mm)	
		排気 (EA) 外壁から1m 25 mm	
		標仕第2編表2.3.2による。	
		区 分 保温種別 摘 要	
		サブライチャムバー	
		M、(イ) or (ロ)、IX	
		※ する ・ しない	
		消音チャンパー・消音エルボ	
		L、(イ) or (ロ)、Ⅷ	
		※ する ・ しない	
		レタランチャンパー	
		L、(イ) or (ロ)、Ⅷ	
		・ する ※ しない	
		吸出口ボックス	
		L、(イ) or (ロ)、Ⅷ	
		・ する ※ しない	
④ 消音		標仕第2編3.2.1項によるほか下記による。	
		・ 下記の垂鉛めっきされた金属電線管は塗装を行う。	
		(・ 屋外露出 ・)	
		・ 下記の垂鉛めっきされた配管、ダクトは塗装を行わない。	
		(・ 機械室 ・ 電気室 ・ 自家発電機室 ・ EV機室) ・)	
		屋外露出部分は、溶融亜鉛めっき (※HDZT49 (2種35) ・ HDZT70 (2種50)) 又はZnS (SUS304) とする。	
		コンクリート内埋設部、貫通部、支持部の金属管にはプラスチックテープ1/2重ね1回巻きを行う。	
① 塗装の箇所		標仕第2編3.2.1項によるほか下記による。	
		・ 下記の垂鉛めっきされた金属電線管は塗装を行う。	
		(・ 屋外露出 ・)	
		・ 下記の垂鉛めっきされた配管、ダクトは塗装を行わない。	
		(・ 機械室 ・ 電気室 ・ 自家発電機室 ・ EV機室) ・)	
		屋外露出部分は、溶融亜鉛めっき (※HDZT49 (2種35) ・ HDZT70 (2種50)) 又はZnS (SUS304) とする。	
		コンクリート内埋設部、貫通部、支持部の金属管にはプラスチックテープ1/2重ね1回巻きを行う。	
② 鋼材工事の防錆		標仕第2編3.2.1項によるほか下記による。	
③ 防食処置		標仕第2編3.2.1項によるほか下記による。	
④ 防食処置		標仕第2編3.2.1項によるほか下記による。	
⑤ 塗装の箇所		標仕第2編3.2.1項によるほか下記による。	
⑥ 鋼材工事の防錆		標仕第2編3.2.1項によるほか下記による。	
⑦ 防食処置		標仕第2編3.2.1項によるほか下記による。	
⑧ 防食処置		標仕第2編3.2.1項によるほか下記による。	
⑨ 塗装の箇所		標仕第2編3.2.1項によるほか下記による。	
⑩ 鋼材工事の防錆		標仕第2編3.2.1項によるほか下記による。	
⑪ 防食処置		標仕第2編3.2.1項によるほか下記による。	
⑫ 防食処置		標仕第2編3.2.1項によるほか下記による。	
⑬ 塗装の箇所		標仕第2編3.2.1項によるほか下記による。	
⑭ 鋼材工事の防錆		標仕第2編3.2.1項によるほか下記による。	
⑮ 防食処置		標仕第2編3.2.1項によるほか下記による。	
⑯ 防食処置		標仕第2編3.2.1項によるほか下記による。	
⑰ 塗装の箇所		標仕第2編3.2.1項によるほか下記による。	
⑱ 鋼材工事の防錆		標仕第2編3.2.1項によるほか下記による。	
⑲ 防食処置		標仕第2編3.2.1項によるほか下記による。	
⑳ 防食処置		標仕第2編3.2.1項によるほか下記による。	
㉑ 塗装の箇所		標仕第2編3.2.1項によるほか下記による。	
㉒ 鋼材工事の防錆		標仕第2編3.2.1項によるほか下記による。	
㉓ 防食処置		標仕第2編3.2.1項によるほか下記による。	
㉔ 防食処置		標仕第2編3.2.1項によるほか下記による。	
㉕ 塗装の箇所		標仕第2編3.2.1項によるほか下記による。	
㉖ 鋼材工事の防錆		標仕第2編3.2.1項によるほか下記による。	
㉗ 防食処置		標仕第2編3.2.1項によるほか下記による。	
㉘ 防食処置		標仕第2編3.2.1項によるほか下記による。	
㉙ 塗装の箇所		標仕第2編3.2.1項によるほか下記による。	
㉚ 鋼材工事の防錆		標仕第2編3.2.1項によるほか下記による。	
㉛ 防食処置		標仕第2編3.2.1項によるほか下記による。	
㉜ 防食処置		標仕第2編3.2.1項によるほか下記による。	
㉝ 塗装の箇所		標仕第2編3.2.1項によるほか下記による。	
㉞ 鋼材工事の防錆		標仕第2編3.2.1項によるほか下記による。	
㉟ 防食処置		標仕第2編3.2.1項によるほか下記による。	
㊱ 防食処置		標仕第2編3.2.1項によるほか下記による。	
㊲ 塗装の箇所		標仕第2編3.2.1項によるほか下記による。	
㊳ 鋼材工事の防錆		標仕第2編3.2.1項によるほか下記による。	
㊴ 防食処置		標仕第2編3.2.1項によるほか下記による。	
㊵ 防食処置		標仕第2編3.2.1項によるほか下記による。	
㊶ 塗装の箇所		標仕第2編3.2.1項によるほか下記による。	
㊷ 鋼材工事の防錆		標仕第2編3.2.1項によるほか下記による。	
㊸ 防食処置		標仕第2編3.2.1項によるほか下記による。	
㊹ 防食処置		標仕第2編3.2.1項によるほか下記による。	
㊺ 塗装の箇所		標仕第2編3.2.1項によるほか下記による。	
㊻ 鋼材工事の防錆		標仕第2編3.2.1項によるほか下記による。	
㊼ 防食処置		標仕第2編3.2.1項によるほか下記による。	
㊽ 防食処置		標仕第2編3.2.1項によるほか下記による。	
㊾ 塗装の箇所		標仕第2編3.2.1項によるほか下記による。	
㊿ 鋼材工事の防錆		標仕第2編3.2.1項によるほか下記による。	
1. 大便器洗浄方式		・ フV洗浄弁併用方式 ・ ロータンク方式 ・ FV(洗浄弁)方式 (※ 押しボタン式 ・ ハンドル式) 水圧の不足する場合は低圧型とする。 ※ 自動洗浄小便器 (洗浄装置一体型) ・ 水栓栓を使用する場合の水栓は (※ 吸気こま ・ 固定こま) とする。 水栓の接続には、器具接続用異種金属接触防止継手 (水栓接続側青銅製) を使用する。 電源供給 (※ AC100V ・ 乾電池 ・ 自己発電) 手動スイッチ (※ なし ・ あり) ※ 温水洗浄便座 (加温方式 ※ 貯湯式 ・ 瞬間式) (付加機能 ※ 温風乾燥機能 ・ 凝着装置 ・ リモコン) (リモコン ※ AC電源 ・ 乾電池 ・ 自己発電) ・ 普通便座 (暖房便座、ソフト閉止付き)	
5-1.18	1. 大便器洗浄方式	・ フV洗浄弁併用方式 ・ ロータンク方式 ・ FV(洗浄弁)方式 (※ 押しボタン式 ・ ハンドル式) 水圧の不足する場合は低圧型とする。 ※ 自動洗浄小便器 (洗浄装置一体型) ・ 水栓栓を使用する場合の水栓は (※ 吸気こま ・ 固定こま) とする。 水栓の接続には、器具接続用異種金属接触防止継手 (水栓接続側青銅製) を使用する。 電源供給 (※ AC100V ・ 乾電池 ・ 自己発電) 手動スイッチ (※ なし ・ あり) ※ 温水洗浄便座 (加温方式 ※ 貯湯式 ・ 瞬間式) (付加機能 ※ 温風乾燥機能 ・ 凝着装置 ・ リモコン) (リモコン ※ AC電源 ・ 乾電池 ・ 自己発電) ・ 普通便座 (暖房便座、ソフト閉止付き)	
5-1.12	2. 小便器	・ フV洗浄弁併用方式 ・ ロータンク方式 ・ FV(洗浄弁)方式 (※ 押しボタン式 ・ ハンドル式) 水圧の不足する場合は低圧型とする。 ※ 自動洗浄小便器 (洗浄装置一体型) ・ 水栓栓を使用する場合の水栓は (※ 吸気こま ・ 固定こま) とする。 水栓の接続には、器具接続用異種金属接触防止継手 (水栓接続側青銅製) を使用する。 電源供給 (※ AC100V ・ 乾電池 ・ 自己発電) 手動スイッチ (※ なし ・ あり) ※ 温水洗浄便座 (加温方式 ※ 貯湯式 ・ 瞬間式) (付加機能 ※ 温風乾燥機能 ・ 凝着装置 ・ リモコン) (リモコン ※ AC電源 ・ 乾電池 ・ 自己発電) ・ 普通便座 (暖房便座、ソフト閉止付き)	
5-1.17	3. 水栓	・ フV洗浄弁併用方式 ・ ロータンク方式 ・ FV(洗浄弁)方式 (※ 押しボタン式 ・ ハンドル式) 水圧の不足する場合は低圧型とする。 ※ 自動洗浄小便器 (洗浄装置一体型) ・ 水栓栓を使用する場合の水栓は (※ 吸気こま ・ 固定こま) とする。 水栓の接続には、器具接続用異種金属接触防止継手 (水栓接続側青銅製) を使用する。 電源供給 (※ AC100V ・ 乾電池 ・ 自己発電) 手動スイッチ (※ なし ・ あり) ※ 温水洗浄便座 (加温方式 ※ 貯湯式 ・ 瞬間式) (付加機能 ※ 温風乾燥機能 ・ 凝着装置 ・ リモコン) (リモコン ※ AC電源 ・ 乾電池 ・ 自己発電) ・ 普通便座 (暖房便座、ソフト閉止付き)	
5-1.13	4. 自動水栓	・ フV洗浄弁併用方式 ・ ロータンク方式 ・ FV(洗浄弁)方式 (※ 押しボタン式 ・ ハンドル式) 水圧の不足する場合は低圧型とする。 ※ 自動洗浄小便器 (洗浄装置一体型) ・ 水栓栓を使用する場合の水栓は (※ 吸気こま ・ 固定こま) とする。 水栓の接続には、器具接続用異種金属接触防止継手 (水栓接続側青銅製) を使用する。 電源供給 (※ AC100V ・ 乾電池 ・ 自己発電) 手動スイッチ (※ なし ・ あり) ※ 温水洗浄便座 (加温方式 ※ 貯湯式 ・ 瞬間式) (付加機能 ※ 温風乾燥機能 ・ 凝着装置 ・ リモコン) (リモコン ※ AC電源 ・ 乾電池 ・ 自己発電) ・ 普通便座 (暖房便座、ソフト閉止付き)	
5-1.13	5. 大便器用便座	・ フV洗浄弁併用方式 ・ ロータンク方式 ・ FV(洗浄弁)方式 (※ 押しボタン式 ・ ハンドル式) 水圧の不足する場合は低圧型とする。 ※ 自動洗浄小便器 (洗浄装置一体型) ・ 水栓栓を使用する場合の水栓は (※ 吸気こま ・ 固定こま) とする。 水栓の接続には、器具接続用異種金属接触防止継手 (水栓接続側青銅製) を使用する。 電源供給 (※ AC100V ・ 乾電池 ・ 自己発電) 手動スイッチ (※ なし ・ あり) ※ 温水洗浄便座 (加温方式 ※ 貯湯式 ・ 瞬間式) (付加機能 ※ 温風乾燥機能 ・ 凝着装置 ・ リモコン) (リモコン ※ AC電源 ・ 乾電池 ・ 自己発電) ・ 普通便座 (暖房便座、ソフト閉止付き)	
5-1.41	1. 給水方式	・ 水道直結方式 ・ 高置タンク方式 ・ 加圧給水方式 ・ 増圧直結方式	
5-1.41	2. タンク	(1) 受水タンク 材質（※下記による。 ・ 任意） ・ FRP製 (・ パネル形 ・ 一体形) (※ 複合板 ・ 単板) ・ 鋼板製 (・ パネル形 ・ 一体形) ・ ステンレス鋼板製パネル (・ ボルト組立形 ・ 溶接組立形) 保温 (・ あり ・ なし) 形状及び寸法 (・ 標準図による ・ 図示による) タンクに給水栓用配管の接続口 (・ 設ける ※ 設けない) タンクに緊急遮断弁 (・ 設ける ※ 設けない) 水位センサ (※ 電極棒 ・ 電極棒)	
5-1.41	2. タンク	(2) 高置タンク 材質（※下記による。 ・ 任意） ・ FRP製 (・ パネル形 ・ 一体形) (※ 複合板 ・ 単板) ・ 鋼板製 (・ パネル形 ・ 一体形) ・ ステンレス鋼板製パネル (・ ボルト組立形 ・ 溶接組立形) 保温 (・ あり ・ なし) 形状及び寸法 (・ 標準図による ・ 図示による) 水位センサ (※ 電極棒 ・ 電極棒)	
5-1.41	2. タンク	(2) 高置タンク 材質（※下記による。 ・ 任意） ・ FRP製 (・ パネル形 ・ 一体形) (※ 複合板 ・ 単板) ・ 鋼板製 (・ パネル形 ・ 一体形) ・ ステンレス鋼板製パネル (・ ボルト組立形 ・ 溶接組立形) 保温 (・ あり ・ なし) 形状及び寸法 (・ 標準図による ・ 図示による) 水位センサ (※ 電極棒 ・ 電極棒)	
5-1.41	2. タンク	(2) 高置タンク 材質（※下記による。 ・ 任意） ・ FRP製 (・ パネル形 ・ 一体形) (※ 複合板 ・ 単板) ・ 鋼板製 (・ パネル形 ・ 一体形) ・ ステンレス鋼板製パネル (・ ボルト組立形 ・ 溶接組立形) 保温 (・ あり ・ なし) 形状及び寸法 (・ 標準図による ・ 図示による) 水位センサ (※ 電極棒 ・ 電極棒)	
5-1.41	2. タンク	(2) 高置タンク 材質（※下記による。 ・ 任意） ・ FRP製 (・ パネル形 ・ 一体形) (※ 複合板 ・ 単板) ・ 鋼板製 (・ パネル形 ・ 一体形) ・ ステンレス鋼板製パネル (・ ボルト組立形 ・ 溶接組立形) 保温 (・ あり ・ なし) 形状及び寸法 (・ 標準図による ・ 図示による) 水位センサ (※ 電極棒 ・ 電極棒)	
5-1.41	2. タンク	(2) 高置タンク 材質（※下記による。 ・ 任意） ・ FRP製 (・ パネル形 ・ 一体形) (※ 複合板 ・ 単板) ・ 鋼板製 (・ パネル形 ・ 一体形) ・ ステンレス鋼板製パネル (・ ボルト組立形 ・ 溶接組立形) 保温 (・ あり ・ なし) 形状及び寸法 (・ 標準図による ・ 図示による) 水位センサ (※ 電極棒 ・ 電極棒)	
5-1.41	2. タンク	(2) 高置タンク 材質（※下記による。 ・ 任意） ・ FRP製 (・ パネル形 ・ 一体形) (※ 複合板 ・ 単板) ・ 鋼板製 (・ パネル形 ・ 一体形) ・ ステンレス鋼板製パネル (・ ボルト組立形 ・ 溶接組立形) 保温 (・ あり ・ なし) 形状及び寸法 (・ 標準図による ・ 図示による) 水位センサ (※ 電極棒 ・ 電極棒)	
5-1.41	2. タンク	(2) 高置タンク 材質（※下記による。 ・ 任意） ・ FRP製 (・ パネル形 ・ 一体形) (※ 複合板 ・ 単板) ・ 鋼板製 (・ パネル形 ・ 一体形) ・ ステンレス鋼板製パネル (・ ボルト組立形 ・ 溶接組立形) 保温 (・ あり ・ なし) 形状及び寸法 (・ 標準図による ・ 図示による) 水位センサ (※ 電極棒 ・ 電極棒)	
5-1.41	2. タンク	(2) 高置タンク 材質（※下記による。 ・ 任意） ・ FRP製 (・ パネル形 ・ 一体形) (※ 複合板 ・ 単板) ・ 鋼板製 (・ パネル形 ・ 一体形) ・ ステンレス鋼板製パネル (・ ボルト組立形 ・ 溶接組立形) 保温 (・ あり ・ なし) 形状及び寸法 (・ 標準図による ・ 図示による) 水位センサ (※ 電極棒 ・ 電極棒)	
5-1.41	2. タンク	(2) 高置タンク 材質（※下記による。 ・ 任意） ・ FRP製 (・ パネル形 ・ 一体形) (※ 複合板 ・ 単板) ・ 鋼板製 (・ パネル形 ・ 一体形) ・ ステンレス鋼板製パネル (・ ボルト組立形 ・ 溶接組立形) 保温 (・ あり ・ なし) 形状及び寸法 (・ 標準図による ・ 図示による) 水位センサ (※ 電極棒 ・ 電極棒)	
5-1.41	2. タンク	(2) 高置タンク 材質（※下記による。 ・ 任意） ・ FRP製 (・ パネル形 ・ 一体形) (※ 複合板 ・ 単板) ・ 鋼板製 (・ パネル形 ・ 一体形) ・ ステンレス鋼板製パネル (・ ボルト組立形 ・ 溶接組立形) 保温 (・ あり ・ なし) 形状及び寸法 (・ 標準図による ・ 図示による) 水位センサ (※ 電極棒 ・ 電極棒)	
5-1.41	2. タン		

[illegible]

冷暖房機器表【改修後】

記 号	名 称	仕 様	台 数	電 気 容 量			設 置 場 所	備 考
				φ	V	kW		
PAC-1	パッケージエアコン	型式 天カセ2方向（シングル）	1	3	200	2.50	1階 関川診療所 処置室	
		冷房能力 10.0kW				(冷房)		
		暖房能力 11.2kW				2.80		
		付属品 ワイヤードリモコン、ドレンアップ、室外機壁掛架台(溶融亜鉛メッキ)				(暖房)		
PAC-2	パッケージエアコン	型式 天カセ4方向（シングル）	1	3	200	2.20	1階 関川診療所 待合室	
		冷房能力 10.0kW				(冷房)		
		暖房能力 11.2kW				2.20		
		付属品 ワイヤードリモコン、ドレンアップ、室外機壁掛架台(溶融亜鉛メッキ)				(暖房)		
PAC-3	パッケージエアコン	型式 天カセ4方向（シングル）	1	1	200	0.77	1階 関川診療所 点滴室	
		冷房能力 4.0kW				(冷房)		
		暖房能力 4.5kW				0.885		
		付属品 ワイヤードリモコン、ドレンアップ、室外機壁掛架台(溶融亜鉛メッキ)				(暖房)		
PAC-4	パッケージエアコン	型式 天井隠蔽ダクト（シングル）	1	1	200	1.91	1階 関川診療所 廊下	
		冷房能力 7.1kW				(冷房)		
		暖房能力 8.0kW				1.91		
		付属品 ワイヤードリモコン、ドレンアップ、室外機壁掛架台(溶融亜鉛メッキ)				(暖房)		
PAC-5	パッケージエアコン	型式 壁掛形（シングル）	1	1	200	2.03	1階 保健センター 相談室	
		冷房能力 7.1kW				(冷房)		
		暖房能力 8.0kW				2.15		
		付属品 ワイヤードリモコン、室外機壁掛架台(溶融亜鉛メッキ)				(暖房)		
PAC-6	パッケージエアコン	型式 壁掛形（シングル）	1	3	200	2.03	1階 保健センター 機能訓練室	
		冷房能力 7.1kW				(冷房)		
		暖房能力 8.0kW				2.15		
		付属品 ワイヤードリモコン、室外機壁掛架台(溶融亜鉛メッキ)				(暖房)		
RAC-1	ルームエアコン（ハウジング）	型式 天カセ1方向（シングル）	1	1	200	0.73	1階 関川診療所 診察室	
		冷房能力 2.5kW				(冷房)		
		暖房能力 3.4kW				1.09		
		付属品 ワイヤレスリモコン、室外機壁掛架台(溶融亜鉛メッキ)				(暖房)		
RAC-2	ルームエアコン	型式 壁掛形	1	1	100	0.55	1階 関川診療所 レントゲン室	
		冷房能力 2.8kW				(冷房)		
		暖房能力 3.2kW				0.66		
		付属品 ワイヤレスリモコン、室外機壁掛架台(溶融亜鉛メッキ)				(暖房)		

【注記】 ※空調機の冷暖房能力は、設計条件値の負荷を外気温度及び配管長にて補正を行い、JIS条件に修正した値を表す。

※電気容量は参考値とし、表記値以下となる機器を選定すること。

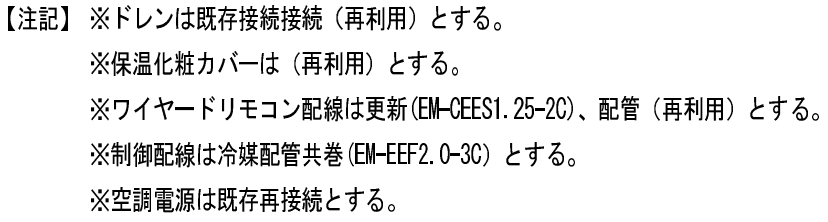
※パッケージエアコンの定格冷暖房能力、定格冷暖房消費電力はJIS B 8616で規定された値とする。

※ルームエアコンの定格冷暖房能力、定格冷暖房消費電力はJIS C 9612で規定された値とする。

※本設計における冷媒配管サイズは参考とし、選定メーカー推奨配管サイズを確認、選定する事。

※各エアコンの封入冷媒量により漏洩最大温度を確認し、日本冷凍空調工業会ガイドラインに準拠した安全対策を行うこと。

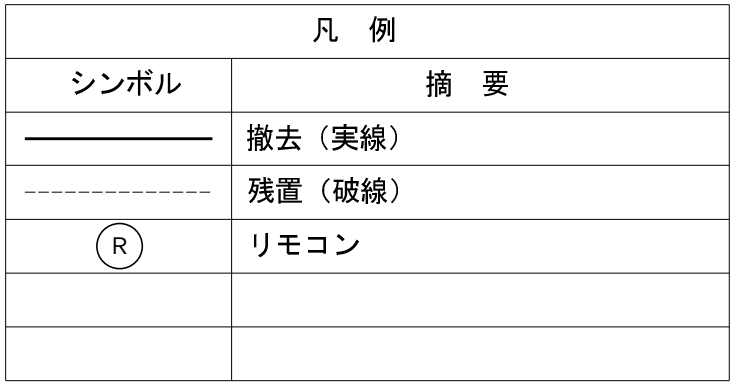
※冷媒配管は「JIS014903に適合するねじ接合継手」、または「ろう付け接合」とする事。



冷暖房機器表【改修前】

記 号	名 称	仕 様	台数	電 気 容 量			設 置 場 所	備 考
				φ	V	kW		
PAC-1T	パッケージエアコン	型式 天力セ2方向（R22）封入量：4.1kg 冷房能力 10.0kW 暖房能力 11.2kW 付属品 ワイヤードリモコン、室外機壁掛架台（溶融亜鉛メッキ）	1	3	200	2.74 （冷房） 2.82 （暖房）	1階 関川診療所 処置室	メーカー名：三洋電機（株） 1995年製 型式（室内）：SPW-SSJU112SH 質量：54kg 型式（室外）：SPW-OHJ112S 質量：94kg 配管サイズφ19.05、φ9.52
						2.56 （低温暖房）		
PAC-2T	パッケージエアコン （冷房専用）	型式 天力セ4方向（R410A）封入量：3.1kg 冷房能力 10.0kW 付属品 ワイヤードリモコン、室外機壁掛架台（溶融亜鉛メッキ）	1	3	200	2.17 （冷房）	1階 関川診療所 待合室	メーカー名：東芝キャリア（株） 型式（室内）：AIU-AP112SH 質量：24kg 型式（室外）：ROA-AP112SS 質量：90kg 配管サイズφ15.88、φ9.52
PAC-3T	パッケージエアコン	型式 天力セ4方向（R410A）封入量：1.4kg 冷房能力 4.0kW 暖房能力 4.5kW 付属品 ワイヤードリモコン、室外機壁掛架台（溶融亜鉛メッキ）	1	1	200	0.895 （冷房） 0.891 （暖房） 1.75 （低温暖房）	1階 関川診療所 点滴室	メーカー名：日立アプライアンス（株）2011年製 型式（室内）：RCI-AP45K3 質量：21kg 型式（室外）：RAS-AP45SHJ 質量：41kg 配管サイズφ12.7、φ6.35
PAC-4T	パッケージエアコン	型式 天井隠蔽ダクト（R410A）封入量：2.2kg 冷房能力 7.1kW 暖房能力 8.0kW 付属品 ワイヤードリモコン、室外機壁掛架台（溶融亜鉛メッキ）	1	1	200	2.14 （冷房） 1.88 （暖房） 2.48 （低温暖房）	1階 関川診療所 廊下	メーカー名：日立アプライアンス（株）2011年製 型式（室内）：RCB-AP80K 質量：41kg 型式（室外）：RAS-AP80SHJ 質量：44kg 配管サイズφ15.88、φ9.52
PAC-5T	パッケージエアコン	型式 壁掛形（R410A）封入量：2.85kg 冷房能力 7.1kW 暖房能力 8.0kW 付属品 ワイヤードリモコン、室外機壁掛架台（溶融亜鉛メッキ）	1	1	200	1.64 （冷房） 1.87 （暖房） 3.47 （低温暖房）	1階 保健センター 相談室	メーカー名：三洋電機（株） 型式（室内）：SPW-HP80B 質量：17kg 型式（室外）：SPW-OHV80B2 質量：67kg 配管サイズφ15.88、φ9.52
PAC-6T	パッケージエアコン	型式 壁掛形（R410A）封入量：2.1kg 冷房能力 7.1kW 暖房能力 8.0kW 付属品 ワイヤードリモコン、室外機壁掛架台（溶融亜鉛メッキ）	1	3	200	2.40 （冷房） 2.39 （暖房）	1階 保健センター 機能訓練室	メーカー名：東芝キャリア（株） 型式（室内）：AIK-AP804H 質量：24kg 型式（室外）：ROA-AP80SHS1 質量：63kg 配管サイズφ15.88、φ9.52
RAC-1T	ルームエアコン（ハウジング）	型式 天力セ1方向（R410A）封入量：0.98kg 家電リサイクル法による処分 冷房能力 2.5kW 暖房能力 3.4kW 付属品 ワイヤレスリモコン、室外機壁掛架台（溶融亜鉛メッキ）	1	1	200	0.665 （冷房） 0.815 （暖房） 1.05 （低温暖房）	1階 関川診療所 診察室	メーカー名：National 2007年製 型式（室内）：CS-256AG2 質量：9.8kg 型式（室外）：CU-B256AG2 質量：33kg 配管サイズφ9.52、φ6.35
RAC-2T	ルームエアコン	型式 壁掛形（R410A）封入量：1.2kg 家電リサイクル法による処分 冷房能力 2.8kW 暖房能力 3.2kW 付属品 ワイヤレスリモコン、室外機壁掛架台（溶融亜鉛メッキ）	1	1	100	0.57 （冷房） 0.596 （暖房） 0.95 （低温暖房）	1階 関川診療所 レントゲン室	メーカー名：三洋電機（株） 2005年製 型式（室内）：SAP-ZK28R 質量：9kg 型式（室外）：SAP-CZK28R 質量：34kg 配管サイズφ9.52、φ6.35

【注記】 ※既存機器の冷媒は回収し、適正処分を行うこと。
※ルームエアコンは家電リサイクル法による処分によること。



【注3】 ※既存機器の冷媒は回収し、適正処分を行うこと。

※ルームエアコンは電氣リサイクル法による処分によること。

※冷媒配管及び内外配配配は撤去とし、電源配線は取り外し（再利用）とする。

※ドレンは室内機直近で切断（再利用）とする。

※保温化粧カバーは（再利用）とする。

※ワイヤードリモコン配線は更新（GM-CES1.25-20）、配管（再利用）とする。

※制御配線は冷暖配管共（GM-EFP2.0-30）とする。